

体育 社会の変化とスポーツ

19

スポーツの歴史

学習内容

スポーツの語源や歴史の変遷について理解し、スポーツに対する人々のさまざまな要求がスポーツを変化させてきた背景を学びます。

学習のポイント

スポーツの語源とは？

スポーツは、英語でも、ドイツ語でも、フランス語でもスポーツ「SPORT」と書きますが、読み方はそれぞれ「スポーツ」「シュポルト」「スポール」です。

スポーツの語源は、古代ローマ人が使ったラテン語の「デポルターレ」DEPORTAREに由来します。中世フランス語では、「デスポール」DESPOORT、14世紀にイギリスでは、「ディスポート」DISPORTと使用され、16世紀にSPORTになりました。

スポーツの歴史的变化

古代のスポーツは、神への奉納や、動物とのかかわり、健康の保持増進を目的におこなわれていました。その後、中世には、エリートの子育てが目的となり、その地域、土地に密着したルールでおこなわれ、それが第17回で学んだ民族スポーツであり、共通ルールでおこなわれ広がったものが、国際スポーツへと変遷していきました。

では、バスケットボールを例に変遷を見ていきましょう。バスケットボールは、1人の人物によって考案されました。米で大学の講師をしていた、ジェームズ・ネイスミスが、冬期に室内でアメリカンフットボールのように激しくおこなえるスポーツをと考え、果物カゴにボールを入れ合う、今のバスケットボールの原型が生まれました。

その後どのように変化してきたのでしょうか？ 皆さんご存じのように、ゴールにはバックボードという板がありますが、その当時はついていませんでした。そのため、ゴールの真後ろで観客が、手を伸ばし、ゴールを成功させたり、妨害したりしたためバックボードが取り付けられるようになったのです。

ルールの変更

スポーツのルールは、その時代の背景や目的、選手などの要求によって変更されることが主流でしたが、現在では、そのスポーツ関係者以外の要望からルールの変更を求められることも多くなってきました。バレーボールを例にみましょう。

1998年の国際バレーボール連盟総会において、従来のサーブ権を持った側が得点を獲得のではなく「サービスの有無に限らず、ラリーに勝ったチームに得点を与える」というラリーポイント制が採択されました。その背景には次のようなことがあったといわれています。

- ① 試合時間が長すぎ、選手の疲労が激しく健康上問題である
- ② 試合時間の長短があり、運営上、次の試合への対応が難しい
- ③ テレビの放送時間上90～120分で試合が終わるようにしてほしいとの強い要望がマスコミ関係者からあったなど

スポーツが「おこなう人」「見る人」「支える人」など、多くの人にとって身近なものになるにつれてルールなどが変更されることが多くなってきています。